

大阪市立豊新小学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
【視点 学力の向上】 ① 「平成 26 年度全国学力・学習状況調査」の結果で、特に「国語・B 問題」の無解答率を平成 24 年度の結果より 10% 減らす。（カリキュラム改革関連） ② 全学年の全ての教科において言語活動を通した授業の単元数を 10% 増やします。（カリキュラム改革関連） ③ 3 年～ 6 年の国語、算数、理科において、個々の児童の習熟度の程度に応じた少人数授業の実施をします。（カリキュラム改革関連） ④ 英語教育の強化を図るため、平成 25 年度 5・6 年、指導を実施します。（グローバル化改革関連）	C
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果の分析	
① 平成 25 年度の国語 B の無回答率は 21.1% であった。 ② 教科によっては言語活動を重視し取り組むことができた。しかし、全ての教科となると十分ではない。取り組みやすい教科とそうでない教科がある。 ③ 習熟度別学習や少人数授業を実施するだけの教職員数がいない。それ以外のことに教職員の手が取られている。 ④ 英語教育については、計画通りに実施された。	
次年度への改善点	
① 最後まであきらめずに問題に取り込む姿勢と、読解力や思考力を養うため、今まで以上に、読書活動や言語活動を多様に取り入れた授業の充実を図っていきたい。 ② 言語活動を増やすことができなかった教科について工夫していく。単元数ではなく、授業全体の何%以上にするという目標の方がわかりやすい。 ③ 生活指導などに追われ、人員不足である。 ④ 今年と同様、C-NET と担任との複数教員で指導を行うことによって効果があがる。早い段階での C-NET の配置が望ましい。	

年 度 目 標	達成 状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>① 道徳の時間を充実するため 100%実施します。(カリキュラム・グローバル化改革関連)</p> <p>② 学校で認知した「いじめ」について、解消に向け対応をしている割合を 100%にします。(グローバル化改革関連)</p> <p>③ 不登校の児童の割合を全国平均以下にします。(グローバル化改革関連)</p> <p>④ 学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をした割合を 100%にします。(グローバル化改革関連)</p> <p>⑤ 防災に関する授業を年間 2 時間以上実施し、また安全（防犯）教育も推進します。(グローバル化改革関連)</p>	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果の分析	
<p>① 年間指導計画に従って実施している。年間計画に加えて、紙芝居の読み聞かせや話し合いなどの取り組みを行ったり、他教科や学校生活の多くの時間を通じて道徳教育を行っている。さらに、各クラスで、終わりの会などで話し合ったことを元に道徳学習を進めていった。</p> <p>② 認知した「いじめ」については解決に向け対応し、保護者とも話し合いを進めている。</p> <p>③ 不登校児童については、保護者への働きかけや関係諸機関と連携をし、関係児童が登校できるよう取り組んでいる。</p> <p>④ 児童虐待については、担任が常に児童の様子を観察し、不審な点があれば管理職に報告し対応ができる体制を取っている。</p> <p>⑤ 防災教育については計画通り実施できているが、防犯教育に不十分であった。</p>	
次年度への改善点	
<p>① 本年度通り計画的に実施していく。</p> <p>② いじめ・不登校を起こさない、許さない教育が大切で、安心・安全な学校、子どもたちの居場所作りが課題である。教職員一丸となって取り組みを進めていく。</p> <p>③ 不登校児童やその家庭への対応の仕方について考えていく必要がある。</p> <p>④ 関係諸機関との連携を強化していく必要がある。</p> <p>⑤ 警察とも連携をし、防犯教育を計画的に取り組む必要がある。</p>	

年 度 目 標	達成 状況
【視点 健康・体力の保持増進】 ① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の各種目の結果を全国平均以上にします。(カリキュラム改革関連) ② 全国学力・学習状況調査の「朝食を食べていますか」の項目について、「食べていない」と答える児童の割合を全国平均以下にします。(カリキュラム改革関連)	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果の分析	
① 学級での取り組みの結果、休み時間に外で遊ぶ児童が増えてきている(アンケート結果より)。全国平均を上回っている種目は、男子が握力と50m走、女子が握力とソフトボール投げである。 ② 機会をとらえて保護者や児童に朝食の大切さを指導してきている。(保健だより・保健指導・学級指導等) 食べていない割合は、男子は2.3%で平均を下回り、女子は0%で上回った。	
次年度への改善点	
① 反復横跳び、立ち幅跳びの結果が大きく下回っていたため、次年度はこの2種目について強化をし、全国平均に近づけていく。 ② 家庭にゆだねる部分が多いので、啓発指導はしても十分に結果が出ないことがある(限界がある)が、男子の割合を減らしていくように指導を続けていく。学校内で指導が実施でき、結果として検証できる目標設定にしていく必要がある。	

年 度 目 標	達成 状況
【視点 特別支援教育の充実】 ① 障がいのある全ての子どもの「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、個別の指導計画に基づき指導します。(カリキュラム改革関連) ② 障がいのある子と通常学級の子どもの協働に成長する教育を推進する。(カリキュラム改革関連)	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果の分析	
① 障がいのあるすべての子どもについて推進委員会を持ち、計画を立て、それに従って実施することができた。 ② 特別支援学級と通常学級の協働、全教職員での研修を通して、特別支援教育の充実を図ることができた。	
次年度への改善点	
・特別支援学級に在籍していないが、支援を要する児童に対して、よりよい教育をしていくためには人材が必要。	

年 度 目 標	達成 状況
【視点 学校の活性化】 ① 検証・改善サイクル（P D C A）の充実を図ります。（マネジメント改革関連） ② 安全（防犯）、避難訓練（防災）の指導を学期に 1 回実施します。（マネジメント改革関連）	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果の分析	
① 学年会などで各学級の情報交換をし、学年の児童にあった活動を計画し実践してきた。 ② 計画通りに進めることができ、避難訓練での避難にかかる時間を短縮することができた。 また、2・4年生は防災教室、5・6年生は非行防止教室、全学年で交通安全教室を実施した。	
次年度への改善点	
① 学年会や職員会議での情報交換及び連携を図っていくことが重要である。 ② 次年度も、今年度以上に地域と連携した避難訓練を実施できるように計画を進めていく。 また、防犯教育も計画的に進めていく。	

年 度 目 標	達成 状況
【視点 教職員の資質・能力の向上】 ① 授業研究を伴う校内研修を年間 3 回以上実施する。（マネジメント改革関連） ② 教育実践のイノベーションにつながる研究の推進を図るために研究検証・分析し、その結果をまとめ発表します。（マネジメント改革関連）	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果の分析	
① 計画通り授業研究会を三回以上実施した。 ② アンケートの実施、分析を行うことで、指導の向上を図ることができた。さらに、校内授業研究会の他にも、東淀川区の音楽科・体育科の研究授業および人権実践発表を行った。	
次年度への改善点	
① 授業研究を重ね、さらに指導法を改善し、教職員の資質・能力の向上に努める。 ② 2 年間の研究の結果、体育的環境や用具を充実させ、指導法を改善し、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の各種目の結果を伸ばしていく必要がある。2 年間の研究について検証し、本校の現在の課題を分析し、次年度の研究テーマを設定していく。	

年 度 目 標	達成 状況
<p>【視点 学校・家庭・地域の連携の推進】</p> <p>① 土曜日授業の実施を学期に1回実施します。(ガバナンス改革関連)</p> <p>② 就業日は地域・PTAの見守る隊による登下校時の子どもの安全確保を実施します。(学校サポート改革関連)</p> <p>③ 家庭学習のステップアップ支援を実施します。(学校サポート改革関連)</p> <p>④ 産業界との連携と学習資源の有効活用するために高学年にキャリア教育を実施します。(学校サポート改革関連)</p>	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果の分析	
<p>①～④は計画通りに実施することができた。</p> <p>②については、保護者による朝の交通当番も実施できている。</p>	
次年度への改善点	
<p>① 地域の行事等と連携していく、土曜授業の日程を早めに行っていく。</p> <p>② 地域の方々の協力を得ながら、継続的に取り組んでいく。</p> <p>③ 継続的に取り組んでいき、より一層の内容の充実を図る。</p> <p>④ ゲストティーチャーの招聘などを進め、5年生・6年生と継続したキャリア教育を進めていきたい。</p>	